

## 資料-7

### 国民の安心・安全なお薬の適正使用の推進のための事前調査

#### 第4回馬橋西ふれあい健康教室で実施したアンケート調査結果

このアンケート調査は、「質の高い安心・安全な薬物療法」を提供するための薬剤師の新たな役割を検討するための参考資料として、「検査値とお薬のかかわりについて」全国調査の事前調査として実施したものです。

アンケート調査への協力者は、14人（15人中）であった。14人中12人は、1年以上継続してお薬を服用し、薬の副作用を気にしていることが明らかになった。よって、薬剤師は、患者（住民）に安心を与える適正な服薬指導、患者情報に基づく処方変更提案（疑義照会）を介する副作用回避に今後も積極的に取り組むべきであると考えた。

ほとんどの参加者は、検査値に基づいて薬による重篤な副作用発現を防止できることを認識していなかった。このことは、研究報告書「検査結果など患者情報の共有化の構築と普及への取り組み」に記載した通り、患者から保険薬局に検査結果を提出する率が低い理由の一つと考えられる。従って、薬と検査値との関わりについて、患者（住民）がより理解することが重要であると考えられた。そのためには、地域住民を対象とし、地域に根付いた講演会開催などにより“薬と検査値等に関する啓蒙活動”の

充実化が望まれる。また、検査値から薬の種類や服用量が変わることがあるについては、知っているが9人、知らないが5人であった。この結果は、薬の代謝・排泄に影響及ぼす腎機能、肝機能などの検査値により投与薬剤や投与量が変更することを知っているのではなく、病気治療の良し悪しを判断するための検査値とし、その検査値に基づいた処方変更をイメージしていると考ええる。

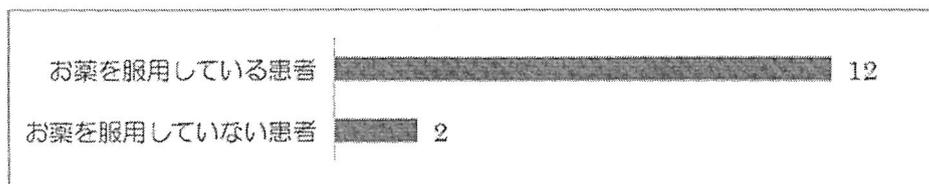
検査値が記載された用紙を薬剤師に見せることに抵抗感を感じますかの質問に、12人の患者（住民）は、抵抗感が無いと回答したことから薬剤師も医療人の一人として、認めてもらえていることが伺えた。また、ほとんどの患者（住民）は、医療機関から検査結果の提供を望んでいることが明らかになった。

このことから、地域のチーム医療の推進に向け、医療機関から外患者への検査結果などの情報提供に積極的に取り組み、また「検査結果と薬とのかかわり」などについての理解を得ることの必要性を感じました。

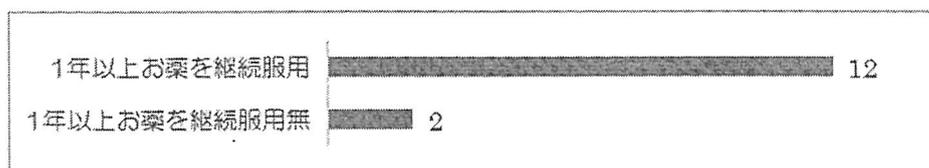
### 1. アンケート実施方法

平成 27 年 3 月 14 日（土）に「ふれあい健康教室」（主催：馬橋西区社会福祉協議会）の参加者 15 人に、事前に主催者をお願いした調査表を講演前に配布していただき、講演終了後主催者側が調査表を回収し提供受けた。 回収枚数 14 枚（回収率：93%）

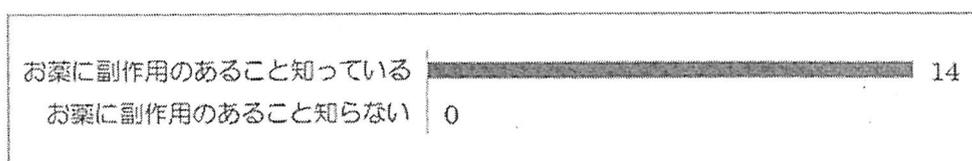
### 2. 現在、あなたは、医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？



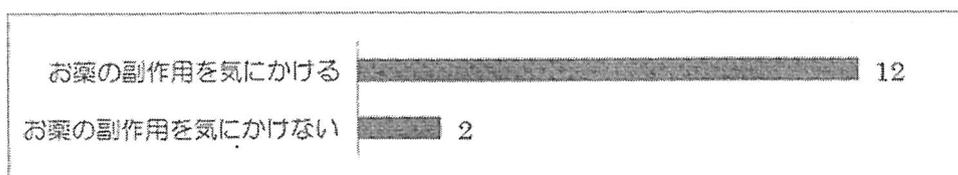
### 3. あなたは、1 年以上継続して医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？



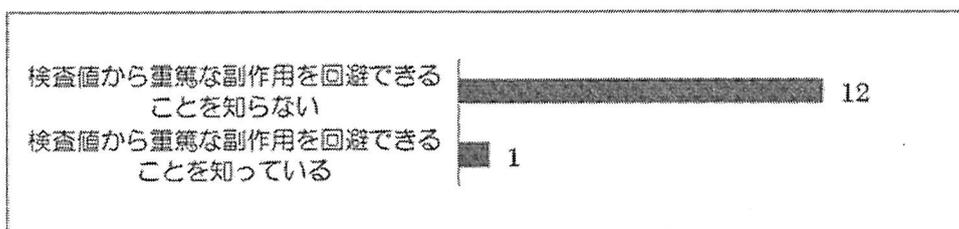
### 4. あなたは、お薬に副作用があることをご存知ですか？



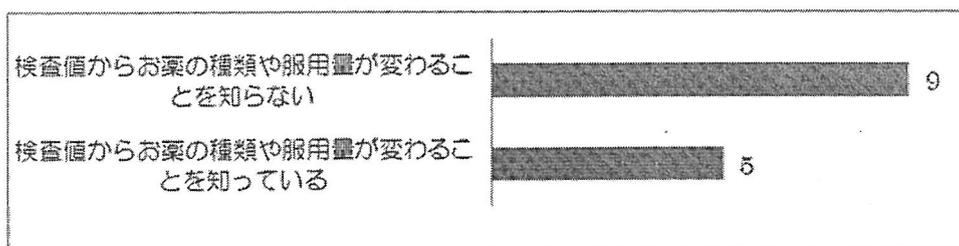
### 5. あなたは、お薬の副作用を気かけますか？



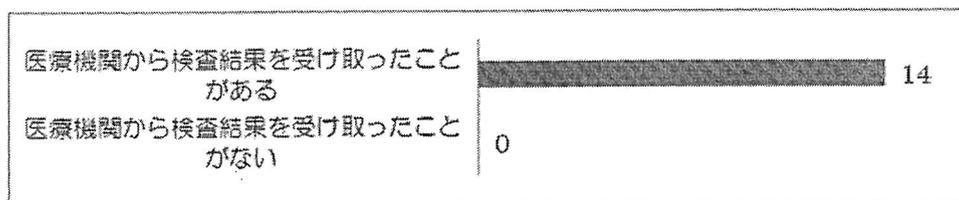
6. あなたは、検査値からお薬の重篤な副作用発現を防止できることをご存知ですか？



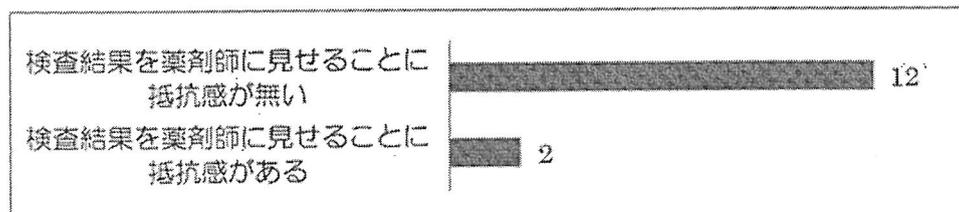
7. あなたは、検査値によってお薬の種類や服用量が変わることをご存知ですか？



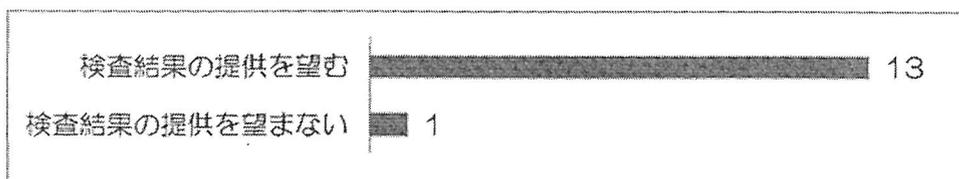
8. あなたは、病院・診療所から検査結果が記載された用紙など（検査値が記載された処方せんも含む）を受け取ったことがありますか？



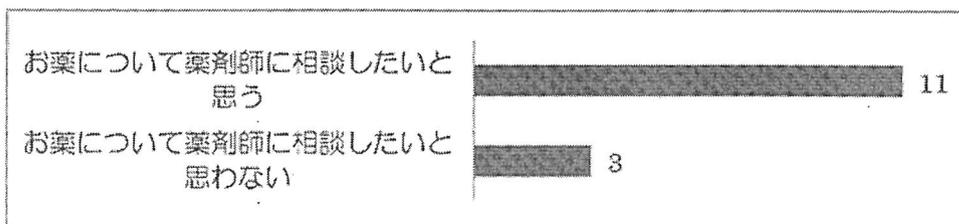
9. あなたは、検査値が記載された用紙を薬剤師に見せることに抵抗感を感じますか？



10. あなたは、病院・診療所から検査値が記載された用紙の提供を望みますか？



11. あなたは、処方されたお薬の注意すべき副作用症状や使用上の注意事項などについて、薬剤師に相談したいと思いますか？



12. これからの薬剤師の役割りなどに関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

参加者-1)：今日の話聞き検査値を見ることの大切さを知りました。

参加者-2)：最近はお医者さんより薬剤師の方がくわしい説明や症状を聞いてくれ心強いです。これからも、そのように対応してほしいと思います

## 「検査結果の提供」に関するアンケート調査のお願い

検査結果の報告書の運用について調査をしています。ぜひご協力をお願いします。  
なお、本調査は無記名です。また、調査の結果は目的以外に利用することはありません。

調査にご同意いただける場合は、次からの質問にお答えください。

I. 設問について該当する項目を○でかこんでください。( )には該当する数字を記載してください。

① あなたの性別を教えてください。

男性 女性

② あなたの年齢を教えてください。

( ) 歳

③ 現在、病院にかかっていますか？

はい いいえ

④ はい とお答えした方に伺います。かかっている病院を○で囲んでください。(複数回答可)

1.イムス三芳総合病院、2.イムス富士見総合病院、3.イムス記念病院、4.その他病院

⑤ 現在、医師に処方してもらったお薬をのんでいますか？

はい いいえ

⑥ あなたは、お薬の副作用を気にしますか？

はい いいえ

⑦ 現在、何の病気で治療を受けていますか？。該当する病気を○で囲んでください (複数回答可)

1.高血圧症 2.糖尿病 3.喘息 4.骨粗しょう症 5.脂質異常症 6.心臓の病気  
7.消化器の病気 8.白内障 9.腰痛 10.胃潰瘍 11.前立腺肥大 12.リウマチ  
13.がん 14.痛風 15.脳梗塞 16.がん 17.てんかん 18.その他

⑧ あなたには、かかり付けの薬局がありますか？

はい いいえ

⑨ 病院から検査結果を記載した用紙を受け取ったことがありますか？

はい いいえ

⑩ 検査結果の報告書を処方せんと一緒に薬局に提出したことがありますか？

はい いいえ

⑪ はい とお答えした方に伺います。薬局で検査結果と処方薬について  
何らかの説明を受けたことがありますか？

はい いいえ

⑫ 病院から提供された検査結果を自分で確認していますか？

はい いいえ

⑬ あなたは、提供された検査結果を自分の病気治療に役立てていますか？

はい いいえ

⑭ 病院からの検査結果の提供は、重要と思いますか？

はい いいえ

これで質問を終わります。ご協力ありがとうございました。

2014. 11. 27 実施

## 《提案書 提案報告書》

提案書提出日 平成 年 月 日

施設（保険薬局）名称 \_\_\_\_\_

連絡先電話番号 \_\_\_\_\_

ID 番号 \_\_\_\_\_

患者氏名 \_\_\_\_\_

患者生年月日 M. T. S. H 年 月 日

提案（疑義照会内容）

報告（緊急を要した電話での疑義照会とする）

〇〇病院 Fax. 〇〇—〇〇〇〇

## 資料-3

### 平成 26 年 第 2 回 富士見市・三芳町薬剤師会学術講演会

富士見市・三芳町薬剤師会 会長 武長 正洋  
学術部理事 平野 道夫

日時 : 平成 26 年 7 月 9 日(水) 午後 7 時 30 分 ~ 9 時  
場所 : 医療法人社団 明芳会 イムス三芳総合病院講堂(4 階)

《開会のあいさつ》 午後 7 時 30 分 ~ 7 時 35 分

富士見市・三芳町薬剤師会  
会長 武長 正洋

#### I. 講演

1. 厚生研究費 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業  
「地域のチーム医療における薬剤師の本質的な機能を明らかにする実証研究」  
の協力依頼 (資料-1) 午後 7 時 35 分 ~ 7 時 55 分

厚生労働省 国立保健医療科学院  
統括研究官 今井 博久先生

2. IMS における検査結果など患者情報の共有化に向けた取り組み(案) (資料-2)  
質疑応答 午後 7 時 55 分 ~ 8 時 15 分

医療法人社団 明芳会イムス三芳総合病院  
薬剤部 佐藤 秀昭先生

#### II. 特別講演 午後 8 時 15 分 ~ 9 時 00 分

「保険薬局における検査データに基づいた処方解析」

～ 疑義照会の実際例を中心とした提案 ～

富士見市・三芳町薬剤師会 学術理事 平野 道夫

《閉会のあいさつ》

主催 : 富士見市・三芳町薬剤師会



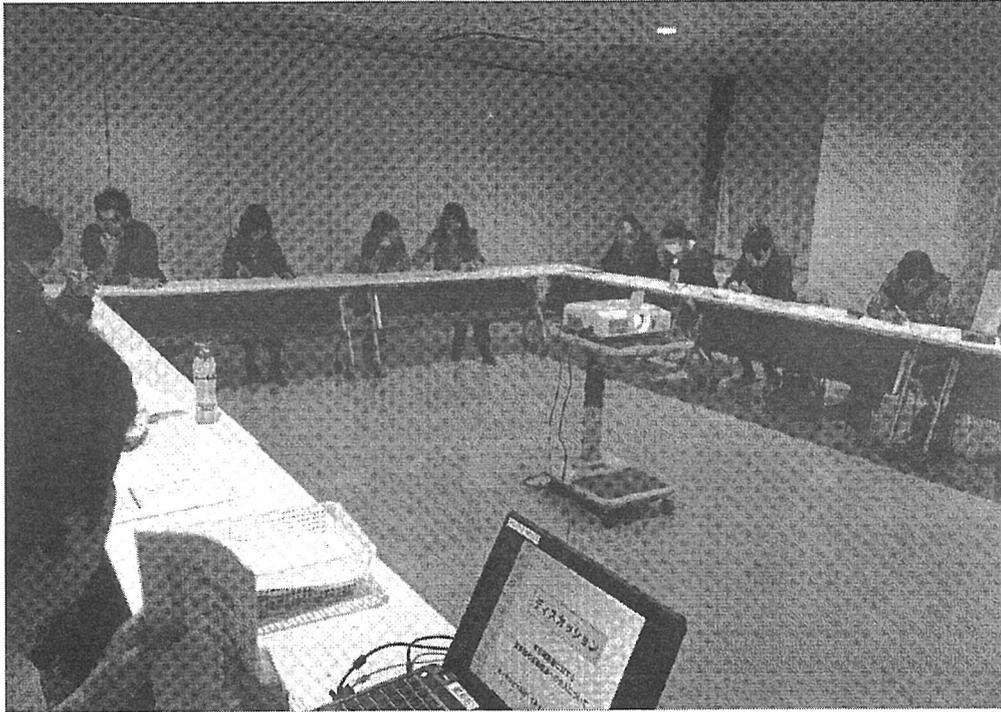


写真-1 病院の薬剤師と薬局の薬剤師との合同研修会（処方解析症例検討会）